




政策目標1. 未来につなぐひとづくり/政策2. 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野5 生涯学習

目指す姿	
誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いているまち	
施策	
施策番号	名称 施策の内容
施策1	生涯学習活動の支援
	 <p>知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。</p>
施策2	読書活動の推進
	 <p>図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。</p>
施策3	地域における社会教育の推進
	 <p>各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。</p>

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況						
	指標名				単位	説明又は計算式
1	公民館講座に参加している市民の割合				%	公民館の主催・共催講座の年間参加者／市の人口
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	最終目標	検証
	目標	33.8	34.1	34.5	35.0	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じながら講座等を開催したことで、前年度より参加者は増加はしたが、目標値には届かなかった。
実績	26.7	—	—			
2	図書館における市民100人あたりの貸出冊数				冊数	年間貸出総冊数／市の人口×100
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	最終目標	検証
	目標	448	451	454	460	臨時休館前の期間に一度に借りることのできる冊数の増加等や、臨時休館中に読書環境の整備に取り組んだが、目標値には届かなかった。
実績	390	—	—			

2 施策の評価

施策1	生涯学習活動の支援
今年度の重点方針(方向性)	<p>知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。</p>
取組状況	<p>【1】学習活動の支援・育成 ・高度化・多様化する市民の学習ニーズに応えるため、平成27年に策定した本市における目指すべき生涯学習のあり方を示した「会津若松市生涯学習推進ビジョン」や市総合計画等に基づいた活動支援を行うとともに、高等教育機関や多様な機関・団体と連携して事業に取り組み、生涯学習ネットワークの強化を図ってきた。 ・生涯学習総合センターの窓口において、学習情報の提供や利用者が抱える様々な学習相談に努めてきた。また、ソーシャルメディアを活用した積極的な情報発信に努めてきた。</p> <p>【2】地域コミュニティの活性化 ・地域活性化を図っていく上では、活動を主導する人材の育成が重要であるため、生涯学習支援者講座やコーディネーター研修会などを通じて、学びの成果を地域に還元できる人材の育成に努めた。</p> <p>【3】生涯学習総合センター管理運営 ・利用者から要望が多かった、土日・祝日の貸館申請や使用料の納入受付などに対応することで、利便性の向上を図ってきた。 ・適切な維持管理と先を見据えた設備の更新のため省エネ診断を行った。 ・利用者の意見や要望などを踏まえ、公民館と図書館、ホール・ギャラリーを備えた複合施設の機能を活かし、より利用しやすく快適な学習環境を整えるとともにランニングコストの削減を図りながら管理運営に努めた。 ・国及び県による新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、市総合対策本部会議における方針に基づき、感染予防に取り組んできた。</p>
課題認識と今後の方針・改善点	<p>【1】学習活動の支援育成 ・今後、ますます高度化・多様化する市民の学習意欲に応じていくために、市民ニーズの的確な把握に努めながら、多様な機関・団体などとのネットワークをより一層強化していくことで、幅広い内容や年齢層に対応した魅力ある講座を実施していく。 また、ICTを活用した講座運営に取り組み、デジタル社会に対応した学習機会の提供に努めていく。</p> <p>【2】地域コミュニティの活性化 ・公民館が地域コミュニティの拠点として、地域住民が主体的に地域課題を解決していく支援に努めるとともに、地域団体、学校などと連携し、学習活動や地域活動の場において地域人材の活用を促進するなど、地域コミュニティの活性化に努めていく。</p> <p>【3】生涯学習総合センター管理運営 ・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立ち始めており、利用者の安全・快適な利用に支障がないよう計画的な設備の更新が求められている。 ・公共施設保全計画により、定期的な点検やメンテナンスにより適正な管理を行い、長寿命化を図るための措置が必要となる。</p>

施策2	読書活動の推進
今年度の重点方針(方向性)	<p>図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。</p>
取組状況	<p>【1】図書資料等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望に応えながら、図書資料等の購入や乳幼児から高齢者までを対象とした図書の整備に努めてきた。 ・平成29年度より雑誌スポンサー制度を開始し、民間活力の導入を図ってきた。令和5年5月末現在、7社14誌の提供を受けている。 <p>【2】図書館サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I Cタグに対応した図書館システムを導入し、5年ごとに図書館システムと機器を更新し、安定したサービスの提供を行っている。 ・郷土資料及び明治・大正・昭和の地元新聞のデジタルデータ、商用データベース等による情報提供を行い、利用者へのサービス向上に努めてきた。 ・図書返却ポストを24時間利用可能にするとともに、会津図書館の図書を地区公民館図書室で返却できるようにし、利用者の利便性向上を図った。 ・活字による読書が困難な人も図書館を利用できるよう、視覚障がい者等サービスを行い、利便性の向上を図った。 ・(公財)図書館振興財団の助成金を活用して作成した「会津若松市デジタルアーカイブ」を令和4年2月に公開した。貴重資料をデジタル化・テキスト化し、インターネット公開することで図書館サービスの充実を図った。令和4年9月から、会津図書館で所蔵する古写真、戦前に発行された絵葉書をデジタル化し、随時追加公開している。 <p>【3】読書活動の整備・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の活性化のためにボランティア養成講座を実施し、ボランティアの養成を図るとともに、学校図書館支援員等と協働で学校図書館の整備に努めた。 ・移動図書館(あいづね号)の日曜運行の他、商業施設や福祉施設へ運行し図書を貸出することで、市民の利便性を図った。 ・各地区公民館図書室を年1回訪問し、図書の除籍作業等の支援を行っている。
課題認識と今後の方針・改善点	<p>【1】図書資料等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の学習ニーズが多様化しており、それに応えるため新刊図書や視聴覚資料の購入、新聞・雑誌の購読継続に努めていく。 ・民間企業に対し、雑誌スポンサー制度の広報と協力を求め、提供する雑誌の増加を目指していく。 <p>【2】図書館サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりや「会津図書館だより」、ホームページ、SNS等により、図書館の様々なサービスについて広報を行い、図書館の利用促進を図っていく。 ・丁寧なレファレンス業務を遂行し、市民の知識の探求の場としての役割を高めていく。 ・障がい者への合理的配慮に対応した図書資料の提供及び視覚障がい者等サービスの広報に努めていく。 ・「会津若松市デジタルアーカイブ」のコンテンツの追加や充実を図り、貴重資料のデジタル化を推進し、利用者の利便性向上を図るとともに、学校の授業で活用されるよう広報に努めていく。 <p>【3】読書活動の整備・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員等と連携し、学校図書館の蔵書管理や整理業務の支援を行い、活性化を図っていく。引き続き「学校図書館ボランティア養成講座」の開催及び会津図書館奉仕員による巡回訪問を行っている。 ・移動図書館(あいづね号)の日曜運行、商業施設や福祉施設、また、小学校、会津支援学校・聴覚支援学校会津校への巡回を継続し、幅広い世代が利用しやすい環境を維持していく。

施策3	地域における社会教育の推進
今年度の重点方針(方向性)	各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。
取組状況	<p>【1】地域コミュニティの活性化 ・地区公民館では、地域の学習拠点として、東公民館の「地域交流館～ひがしカフェ～」、南公民館の「よろずお楽しみ会」、北公民館の「永和地区地域づくり協議会」、大戸公民館の「大戸まちづくり協議会」、河東公民館の「オラのまちブラリ探究部」などを開催し、地域住民が主体的となり、地域コミュニティの醸成や活性化につながるような地域活動の支援に努め、住民同士の交流のための環境づくりを図った。</p> <p>【2】地区公民館の管理運営 ・地区公民館においては、利用者の利便性・快適性の提供に努めるとともに適切な施設管理を行ってきた。 ・令和4年度は、北公民館のトイレ改修工事や東公民館の施設一部の照明LED化、一箕公民館の会議室の冷暖房改修工事を行い、安全・安心の観点からも利用者が利用しやすい施設環境整備を行った。 ・国及び県による新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、市総合対策本部会議における方針に基づき、感染予防に取り組んできた。</p>
課題認識と今後の方針・改善点	<p>【1】地域コミュニティの活性化 ・地域コミュニティを活性化させていくためには、地域住民が主体的に地域課題に取り組むことができる連携、協力のため環境づくりが必要であり、今後は、それぞれの地区公民館において、地域の実情に応じた環境づくりに努めていく。 ・地区公民館においては、地域住民との協働による地域コミュニティの拠点としての役割も求められており、各地域の実情に応じて、地域の活性化に取り組んでいく。</p> <p>【2】地区公民館の管理運営 ・地区公民館の多くは、築30年から40年が経過しており、経年劣化による施設の破損や設備の故障に対し、一時的な経費の負担増が見込まれる。公民館の適切な維持管理を行うため、公共施設等総合管理計画や耐震診断結果等を踏まえ、計画的な保全・整備を行う。</p>

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名

4 施策の最終評価

<p>・政策分野5「生涯学習」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。</p> <p>・施策2「読書活動の推進」については、学校図書館支援員等と連携し、学校図書館の蔵書管理や整理業務の支援を行い、読書活動の活性化を図るとともに、引き続き「学校図書館ボランティア養成講座」の開催及び会津図書館奉仕員による巡回訪問を行っていく。また、「会津若松市デジタルアーカイブ」のコンテンツの追加や充実を図り、貴重資料のデジタル化を推進し、利用者の利便性向上を図るとともに、学校の授業で活用されるよう広報に努めていく。</p> <p>・施策3「地域における社会教育の推進」については、引き続き、地区公民館を地域住民との協働による地域コミュニティの拠点とし、各地域の実情に応じた環境づくりに努め、地域の活性化に取り組んでいく。</p>

5 事務事業一覧

番号	ロジックモデル	重点事業	人口減少対策※	SDGsターゲット	事務事業名	次年度方針	担当部・課
施策1 子どもと子育て家庭を支える地域づくり							
1		◎		4.1	生涯学習推進事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
2		◎		4.1	生涯学習総合センター管理運営費	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
3		◎		4.1	中央公民館神指分館事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
4				4.1	中央公民館神指分館管理運営事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
5				4.1	子どもの森維持管理事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
6				4.1	教育委員会表彰経費	継続	教育委員会 教育総務課
施策2 読書活動の推進							
1		◎		4.1	生涯学習情報提供事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
施策3 地域における社会教育の推進							
1		◎		4.1	北公民館事業	継続	教育委員会 北公民館
2				4.1	北公民館管理運営事業	継続	教育委員会 北公民館
3				4.1	北公民館耐震改修工事	終了	教育委員会 北公民館
4		◎		4.1	南公民館事業	継続	教育委員会 南公民館
5				4.1	南公民館管理運営事業	継続	教育委員会 南公民館
6		◎		4.1	大戸公民館事業	継続	教育委員会 大戸公民館
7				4.1	大戸公民館管理運営事業	継続	教育委員会 大戸公民館
8		◎		4.1	一箕公民館事業	継続	教育委員会 一箕公民館
9				4.1	一箕公民館管理運営事業	継続	教育委員会 一箕公民館
10		◎		4.1	東公民館事業	継続	教育委員会 東公民館
11				4.1	東公民館管理運営事業	継続	教育委員会 東公民館
12		◎		4.1	湊公民館事業	継続	教育委員会 湊公民館
13				4.1	湊公民館管理運営事業	継続	教育委員会 湊公民館
14		◎		4.1	北会津公民館事業	継続	教育委員会 北会津公民館
15				4.1	北会津公民館管理運営事業	継続	教育委員会 北会津公民館
16		◎		4.1	河東公民館事業	継続	教育委員会 河東公民館
17				4.1	河東公民館管理運営事業	継続	教育委員会 河東公民館
18				4.1	河東地域スポーツ事業負担金	継続	教育委員会 河東公民館

※人口減少対策に資する事業を「第2期 会津若松市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定める4つの基本目標に分類して表記しています。

柱1 ICTと既存産業・資源を活用したしごとづくり

柱2 地域の個性を活かした新たなひとの流れの創出

柱3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり

柱4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 子どもと子育て家庭を支える地域づくり

1	事業名	生涯学習推進事業	法定/自主	自主	
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	本市の生涯学習活動の拠点として、様々な生涯学習推進に関する事業を稽古堂市民講座として実施し、利用者のニーズに対応した学習機会場の場と人材の育成、情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	3,610	3,610
			所要一般財源	3,610	3,610
概算人件費			43,795	43,795	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・「出前講座」や「地域教育コーディネーター派遣事業」により、地域教育力の向上や地域コミュニティ活性化を図るとともに、生涯学習総合センターの窓口で学習相談に応じるなど、学習者への支援を継続してきた。 ・高等教育機関や企業、地域団体などと連携し、それぞれの強みを活かした講座・事業を実施することにより、市民の多様な学習ニーズに応じてきた。 ・講座を通して、地域活動や学習活動に主体的に取り組む人材育成に努めてきた。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	少子高齢化社会の進行や、個人の生活環境や価値観が多様化している中で、市民が主体的に学習していくことができるよう、学習者のニーズに応じた学習機会や場をどのように提供していくことができるかが課題となっている。また、地域コミュニティの希薄化が大きな課題となっており、学習活動を通じた世代間の交流や地域の活性化に向け、これまで以上に地域社会との連携・協働が必要となっている。				
2	事業名	生涯学習総合センター管理運営費	法定/自主	自主	
	担当部・課	教育委員会・生涯学習総合センター	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	公民館と図書館、多目的ホール・市民ギャラリーを備えた複合施設の機能を生かし、利用者の意見や要望などを踏まえ、より利用しやすい環境を整えるため適切な管理運営に努めていく。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	206,715	232,664
			所要一般財源	179,288	222,854
概算人件費			27,405	27,405	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者から要望が多かった、土日・祝日の貸館申請や使用料の納入受付などに対応することで、利便性の向上を図ってきた。 ・維持管理経費抑制のため、契約更新に合わせ委託業務仕様の見直しを図ってきた。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立ち始めており、利用者の安全 ・快適な利用に支障がないよう計画的な設備の更新が求められている。 ・公共施設保全計画に基づき、定期的な点検やメンテナンスにより適正な管理を行い、長寿命化を図るための措置が必要となる。 				
3	事業名	中央公民館神指分館事業	法定/自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	145	145
			所要一般財源	145	145
概算人件費			3,311	3,311	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民や各種講座参加者の声を大切にしながら、申込者の抽選を行うなど多くの参加希望者を得て、事業を計画・展開している。 ・地域の自主性を育み、住民相互の交流を図るため、地域の実行委員会と共催で、住民参加と発表機会となる「神指地区文化祭」の開催を目指している。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元利用者が少ないため、神指地区の地元住民の参加促進を図る必要がある。 ・事業懇談会をはじめとして、多方面からの意見を頂戴し、より魅力ある講座、メニューでの事業実施に取り組んでいく。 				

4	事業名	中央公民館神指分館管理運営費事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	中央公民館神指分館の施設管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	6,899	6,899
			所要一般財源	6,899	6,899
概算人件費			6,725	6,725	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<p>・地域の学習や文化活動の場として、安全安心かつ快適に利用できる施設環境の整備に努めてきた。H18トイレ水洗化、H19玄関自動ドア化、H25図書コーナー設置、H27～30屋根塗装工事、R1湯沸室改修工事、R2日本間カーテン取替、R4会議室カーテン取替、日本間・会議室照明LED化工事。</p>				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<p>・施設改修等により、利用者に対し、利便性・快適性の提供に努めてきたが、畳、什器類、照明設備等をはじめとして、老朽化が進んでいる。 ・不具合個所の早急な修理・修繕に努め、利用者が快適に利用できる施設の管理運営に努める。</p>				
5	事業名	子どもの森維持管理事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	施設利用を通して、子どもたちに自然とふれあう機会を提供し、自然を大切にする気持ちや豊かな感受性を育む。そのため管理人を配置し環境整備のための維持管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	2,430	2,898
			所要一般財源	2,430	2,898
概算人件費			749	749	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<p>・施設的环境整備のため、専門知識が豊富な管理人を配置するとともに、ボランティアによるサポーター登録制度を設け、草刈り等維持管理に努めてきた。 ・老朽化した汲み取り式トイレを撤去し仮設トイレを設け、快適な環境づくりに努めてきた。 ・平成29年度より国立青少年教育振興機構の「体験の風をおこそう推進事業」を活用した主催事業を行うなど、親子で楽しめる事業を行い利用促進に努めてきた。</p>				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<p>・近年はキャンプやバーベキュー等多様な利用に供され、利用者は増加傾向にあることから、より安全で快適な場の提供に努めるとともに、親子向けのキャンプ講座等を開催し、より一層の利用促進に努める。 ・自然とのふれあいを大切にした、青少年の自然体験事業などでの活用を進めるために学校への利用案内に加え、各種講座の開催や今後の利活用の促進に取り組んでいく。</p>				
6	事業名	教育委員会表彰経費	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 教育総務課	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	本市の教育の振興発展等に貢献した市民または団体を表彰する。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	267	267
			所要一般財源	267	267
概算人件費			337	337	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<p>毎年11月3日(文化の日)に、教育の振興・発展に貢献し、その功績が顕著である者を功労賞として、また全国レベルで教育学術、文化芸術、体育等に顕著な成績を修めたものを奨励賞として、教育委員会が表彰を行う。 平成30年度から、11月3日の表彰後に奨励賞の対象となった児童生徒に対し、3月表彰を行うこととした。</p>				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<p>運用方針で定める選考基準に基づき、教育委員会表彰式を実施する。潜在的な候補者が推薦されるよう周知に努めていく。</p>				

施策2 読書活動の推進

	事業名	生涯学習情報提供事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター	次年度方針	継続	
1	概要 (目的と内容)	市民の多様な学習ニーズに応えるため、図書や雑誌及び視聴覚資料の充実を図るとともに、会津図書館がもつ様々なサービスの広報に努める。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	40,717	40,917
			所要一般財源	39,717	39,917
			概算人件費	33,967	33,967
	これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の要望に応えながら、図書資料等の購入や乳幼児から高齢者までを対象とした図書の整備に努めてきた。 活字による読書が困難な人も図書館を利用できるよう、視覚障がい者等サービスを行い、利便性の向上を図った。 「会津若松市デジタルアーカイブ」で、デジタル化・テキスト化した貴重資料をインターネット公開し、図書館サービスの充実を図った。 			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な学習ニーズやリクエストに応えながら、新刊図書や新聞・雑誌、視聴覚資料等の充実努めていく。 障がい者への合理的配慮に対応した図書資料の提供及び視覚障がい者等サービスの広報に努めていく。 「会津若松市デジタルアーカイブ」で公開するコンテンツの充実努め、学校の授業で活用されるよう周知に努めていく。 			

施策3 地域における社会教育の推進					
1	事業名	北公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会の提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	600	600
			所要一般財源	600	600
概算人件費			11,232	11,232	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域伝統の「ものづくり」や「地域歴史」講座の開催など、地域に根ざした生涯学習活動を実施。 ・「北地区文化祭」や「永和地区地域づくり協議会」等の住民参画事業により、地域コミュニティの活性化に寄与。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化が急速に進む中で、地区公民館が活動の拠点となり地域コミュニティを維持、発展させていくことで地域課題の解決を図る必要がある。 ・地域の特性を生かした魅力ある公民館事業を積極的に実施する。 ・地域づくり協議会等の開催を通して、各種団体や住民参画のもと事業を推進する。 				
2	事業名	北公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	北公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	10,438	12,670
			所要一般財源	10,338	12,570
概算人件費			3,744	3,744	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	令和2年度 1階会議室照明器具改修工事、1階男子トイレ改修工事 令和3年度 電話設備改修工事 令和4年度 網戸設置工事、屋外掲示板等改修工事、 高圧受電設備改修工事、2階女子トイレ改修工事				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和55年開館から44年目を迎え、施設・設備の経年劣化が進んでいる。 ・安全で円滑な施設利用の観点から、年次計画により、網戸設置、照明のLED化、ボイラー改修を進めていく。 				
3	事業名	北公民館耐震改修工事		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北公民館		次年度方針	終了
	概要 (目的と内容)	北公民館の耐震改修工事を行うため、令和4年度に基本計画・実施設計を行い、令和5年度に改修工事を実施する。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	7,740	0
			所要一般財源	4,644	0
概算人件費			225	0	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に耐震改修基本計画及び実施設計の業務委託を実施。 ・令和5年度に2階調理室の耐震改修工事を実施。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・北公民館耐震改修工事の完了に伴い、令和5年度で本事業を終了する。 				

4	事業名	南公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 南公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	350	350
			所要一般財源	350	350
概算人件費			11,232	11,232	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を対象にフィールドでの自然体験・会津の伝統工芸に触れる「みなこー夢広場」や、地域住民同士の交流を深める「ふれあうよろずカフェ」（旧「よろずお楽しみ会」）などの講座を開催。 ・地域との共催事業として、地区文化祭などの運営協力を行っている。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が地域活動の拠点施設として、住民の学習ニーズを的確に把握して自主事業を開催するとともに、地域防災力の向上や地域学校協働活動の充実など新たな課題解決に向けて、地域と協働して取り組む。 ・住民の学習ニーズを反映し、受講者を募るにあたり、これまでのおおむね全日程の参加を要件とする登録制を廃止し、その都度の参加が可能な形態にした。新たな受講者の獲得にも繋がっていることから、今後も工夫して取組んでいく。 				
5	事業名	南公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 南公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	南公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	10,582	19,380
			所要一般財源	9,937	15,718
概算人件費			4,830	4,830	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	令和3年度 1階屋上防水改修工事、1階男子トイレ改修工事 令和4年度 キュービクルフェンス改修工事、合併浄化槽水中ブロワ配管改修工事 令和5年度 非常放送設備改修工事				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方々利用に供するため、日頃より職員による目視も含めた点検を行い、施設利用に支障が出ないよう良好な施設の維持管理に努め、利用者が活動しやすい環境を整備していく。 ・安全かつ利便性の高い施設整備の観点から、年次計画により、駐車場の舗装やトイレの洋式化、照明のLED化を進めていく。 				
6	事業名	大戸公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 大戸公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	498	3,143
			所要一般財源	498	3,143
概算人件費			9,360	33,967	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を越えた地域住民の学習や活動の拠点となる施設運営に努め、生涯学習の推進を図った。 ・地域づくり組織である大戸まちづくり協議会等の活動拠点として地域住民が気軽に立ち寄れる「集いの場」を提供し地域コミュニティの活性化に努めた。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化が進むなか、それに伴う様々な地域課題を解決するため、公民館に対する活動拠点として役割や機能の充実が望まれている。 ・地域課題解決のために設立されたNPO法人大戸まちづくり協議会等との連携、協力により地域特性を活かしながら、住民ニーズに寄り添った事業に取り組む。 				

7	事業名	大戸公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 大戸公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	大戸公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	7,908	17,944
			所要一般財源	7,853	17,896
概算人件費			9,360	9,360	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度 1階女子トイレ洋式化工事 令和3年度 1階男子トイレ洋式化工事				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年の開館から38年が経過し、建物・設備の経年劣化が進んでいる中で、安全かつ利便性の高い施設環境を整える必要がある。 ・施設や設備の定期的な点検を行い、適切に修繕やメンテナンス等に努めることで、施設の長寿命化を図っていく。 ・利用者の高齢化や安全・安心を優先した観点から、年次計画に基づき、講堂屋根の錆び除去・塗装、正面入口自動ドア改修等を進めていく。 				
8	事業名	一箕公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 一箕公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	525	525
			所要一般財源	525	525
概算人件費			4,718	4,718	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	時代の変化に応じた地域ニーズ等を踏まえ、青少年(げんき塾)、成人(わたし塾)及び高齢者(一箕シルバー大学)を対象とした講座を開館以来継続して実施している。また、四半期ごとに「いっき公民館だより」を発行し、地域との情報共有を行っている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館主体の事業だけでなく、地域住民や事業者との協働による事業を行うことで、地域コミュニティの活性化、さらに高齢化問題等の地域課題の解決を図ることが必要である。 ・時代変化に合った事業の見直しを行い、魅力ある事業を開催するとともに、地域の人材を活かした市民協働での事業を推進していく。 				
9	事業名	一箕公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 一箕公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	一箕公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	13,829	22,411
			所要一般財源	9,144	9,896
概算人件費			4,718	4,718	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	施設・学習環境の整備の一環として、以下の事業を実施したところである。 R2 非常放送・電話設備改修工事ほか R3 1階女子トイレ改修工事ほか R4 1階事務室・2階会議室冷暖房改修工事				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備等の経年劣化が進んでおり、利用者の利便性・快適性・安全性を考慮し、施設設備環境の整備を計画的に行う必要がある。 ・今後も適切な施設の管理と改善を行っていく。重点項目として、利用者が安全・快適に利用できるよう照明のLED化、冷暖房やトイレの改修等、施設の整備を順次実施していく。 				

10	事業名	東公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 東公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	467	467
			所要一般財源	467	467
概算人件費			3,744	3,744	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティづくりや地域の活性化に寄与するため、地域住民との協働による「ひがしカフェ」や「東山地区文化祭」を実施してきた。 ・郷土史教室、クラフト教室などの主催事業により、学習機会と生きがいづくりの提供に務めてきた。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化が進むなかにあって、生きがいづくりとなる事業を、地域との協働により継続していく必要があると認識している。 ・引き続き、地域の団体との協働により、事業を推進していく。 ・受講者のニーズにあった、魅力ある主催事業となるよう検討していく。 				
11	事業名	東公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 東公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	東公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	9,426	10,426
			所要一般財源	9,131	10,131
概算人件費			2,808	2,808	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、安全安心に利活用できる施設整備をしてきた。 令和元年度 1階女子トイレ洋式化工事 令和2年度 非常用放送設備アンブ交換工事 令和3年度 1階男子トイレ洋式化工事・高圧受電設備改修工事 令和4年度 照明LED化工事(施設の一部) 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年の開館から30年以上が経過したことによる施設・設備等の経年劣化が進んでいる。 ・利用者の高齢化や安全・安心を優先した施設整備の観点から、年次計画により、正面入口自動ドア改修、トイレの洋式化を進めていく。 				
12	事業名	湊公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 湊公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	318	366
			所要一般財源	318	366
概算人件費			2,820	2,820	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・サギソウ植栽講習会や湊みのりの大学など、世代の興味・関心、地域ニーズを反映した事業として、学習機会の提供に努めてきた。 ・月1回の広報紙発行による情報発信のほか、地区住民との連携を維持できるよう出張公民館による学びの機会の提供に努めている。 ・令和5年6月より、湊町区長会・保健委員会・民生児童委員ほか地区住民との協働による「よってカフェ」を立ち上げ住民の学びと交流の場の提供に努めている。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化が急速に進む中で、地区公民館が活動の拠点となり地域コミュニティを維持、発展させていくことで地域課題の解決を図る必要がある。 ・地域特性を生かした魅力ある事業構築に向け、参加者へのアンケート調査等を継続しつつ、地区課題の共有化を図りながら住民参画事業の拡大につなげ、事業の改善を図っていく。 				

13	事業名	湊公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 湊公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	湊公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	13,426	9,676
			所要一般財源	7,594	9,676
概算人件費			2,247	2,247	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成28年度 床暖房系統漏水修理・温水管修理 平成29年度 外灯修繕 平成30年度 北側屋根修繕 (H25にも修繕の実績あり) 令和4年度 湊市民センター併設に伴う館内改修				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の軽微な修理についてその都度対応してきたが、開館後20年以上が経過し経年劣化に伴う損傷や故障も目立つ状況にある。 利用者の安全性・利便性及び快適性に配慮した施設環境整備に努めるため、年次計画により自動ドア装置の修繕を進めていく。 令和5年4月に湊地区が国の脱炭素先行地域に選定されたことを受け、事業期間内での施設設備の省エネ改修や再エネ導入に向けた検討を進めていく。 				
14	事業名	北会津公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 北会津公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	497	497
			所要一般財源	497	497
概算人件費			7,763	7,763	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	<ul style="list-style-type: none"> 実生活に即した教養や学習を中心に、住民の相互交流を図る講座の継続、参加しやすく興味をひく内容への検討・見直しを行ってきた。 地域住民との交流、生涯学習の普及のため、「北会津文化祭」の開催や公民館だよりの発行、地域各種会議への参加による地域との情報共有に努めてきた。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> 急速な人口減少、少子高齢化が進み、市民の価値観が多様化するなか、市民ニーズに応えた企画立案、工夫による学習機会の提供や、地域コミュニティを維持、発展させていくことが必要であると認識している。 地域の次世代を担う青年の掘り起こしと参加者同士の交流を図り、地域コミュニティの醸成・活性化、地域リーダーの育成を図る。 				
15	事業名	北会津公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 北会津公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	北会津公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	12,835	12,464
			所要一般財源	12,670	12,670
概算人件費			2,996	2,996	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度 1階男子トイレ掃除用流し新設工事 令和4年度 電気設備改修工事 令和3年度には「公共施設再編プラン」により公民館を含む今後の公共施設の在り方が示された。 令和4年度より学校教育等に専門的な知識や経験を有する「公民館専門員」を配置し、北会津中学校区地域学校協働本部事業や社会教育事業を推進している。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> 昭和46年の開館から50年以上経過する施設であり、施設、設備、器具等の老朽化により、今後も必要最小限の修繕を行う必要がある。 利用者の安全安心、利便性に配慮した施設の適正な維持管理に努めるとともに、耐震診断の結果や公共施設等総合管理計画、公共施設再編プラン等を踏まえ、社会教育及び地域活動の拠点となる施設整備に向け、様々な手法を検討する。 				

16	事業名	河東公民館事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 河東公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	619	623
			所要一般財源	619	619
概算人件費			7,676	7,676	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子体験教室などの少年教育、さらには健康や趣味の講座、郷土史やICT講座（スマートフォン講座）などをはじめとする成人教育等の主催事業のほか、地域ニーズを反映しながら幅広い年齢層に対応できる事業に取り組んできた。 ・地域団体との連携により、各種スポーツ大会や文化産業祭、町民運動会等を長年に渡って実施し、地域住民の生涯学習の普及および健康の増進、地域親睦を図ってきた。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズや価値観は多様化しており、生涯学習を支援するためには、地域住民の学習ニーズを的確に捉えた上での講座の開催が必要である。 ・参加者アンケートや公民館事業懇談会からの意見を反映させながら、学習ニーズを捉えた講座等を開催していく。 また、気軽に集い、学び、作る、知ることができる場が公民館であることから、学習情報収集や集いやすい場所の提供に努める。 				
17	事業名	河東公民館管理運営事業	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 河東公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	河東公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	19,263	21,231
			所要一般財源	19,135	21,082
概算人件費			3,071	3,071	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備面の老朽化が進む中、施設の維持管理に取り組んできた。 ・令和3年度 「公共施設再編プラン」により公共施設の在り方が示された。 ・令和4年度 公民館の今後の在り方について庁内関係部署による協議が開始された。 ・令和3年度に学校教育等に専門的な知識や経験を有する「公民館専門員」を配置し、河東地区地域学校協働本部事業や社会教育事業を推進した。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和51年の開館から長い年月が経過し、施設、設備等の老朽化が進む中、移転を考慮しながら安全性に配慮した必要最小限の修繕を行っていく必要がある。 ・利用者の高齢化が進む中、安全性や利便性に配慮した施設の維持管理を行いながら、耐震診断の結果や公共施設等総合管理計画、公共施設再編プラン等を踏まえ、地域の社会教育及び地域活動の拠点となる施設整備を検討する。 				
18	事業名	河東地域スポーツ事業負担金	法定／自主	自主	
	担当部・課	教育委員会 河東公民館	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	河東地区体育連盟と河東公民館の共催により町民運動会、町内一周駅伝競争及び各種競技種目10大会（合計12事業）の実施を通して地域住民の健康増進と地域コミュニティの醸成を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	600	600
			所要一般財源	600	600
概算人件費			7,676	7,676	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	河東地域においては、旧河東村の時代から公民館と協働で社会体育事業を展開し、地域住民の健康意識の高揚、地域コミュニティの維持・活性化など、地区体育連盟の果たす役割が重要視され、現在に至るまでまちづくりに大きな役割を果たしてきた。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<ul style="list-style-type: none"> ・体育連盟の自主財源の確保に努めるとともに、今後においても各種大会や地域イベント等の実施環境を維持するためには継続した財政支援が必要である。 ・本事業により、住民の健康増進や世代を超えた交流が図られ、地域活性や災害時の共助にも結び付いており、今後も体育連盟と公民館との協働により事業を継続していく必要がある。 				